

事例集（3）地域参加・社会参加の拡大

- ① 現役世代：（1）早期からの参加の懸念
- ② 高齢者：（2）消極的な高齢者の参加促進
- ② 高齢者：（3）地域活動・社会活動の支援（ポイント付与）
- ② 高齢者：（4）地域活動・社会活動の支援（その他）
- ② 高齢者： その他参考事例（すでに自律的に活動している個人・団体等）

地域参加・個別事例一覧

類型	整理番号	プログラム名等	運営主体	大学	企業	NPO法人等	自治体	主な対象					(2)(3)(4)の主な活動内容				特徴点			場所					
								子ども	青少年	(1)現役・早期参加	(2)消極的な高齢者の参加促進	(3)地域貢献高齢者の活動支援	(付)高齢者による自律的な活動	高齢者・教える	高齢者・助ける	高齢者・兼う	高齢者・健康増進	高齢者・地域活性化	世代間交流	ポイント付与	有償ボランティア	情報提供・共有	講座開催	県内	県外
①(1)	1	地域デザインの学校プロジェクト	福岡市・ドネルモ				◎				●							◎							◎
①(1)	2	地域活動実践型生涯学習講座	福岡県				◎				●							◎							◎
①(1)	3	オヤジ☆イノベーション	千葉県柏市				◎				●			○				◎							◎
②(2)	4	地域デビュー体験ツアー	鹿児島県				◎				●				○										◎
②(2)	5	スポーツ・ボイス大学院	長野県松本市		◎		◎				●				○	◎									◎
②(2)	6	都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンター	都岐沙羅パートナーズセンター				◎				●							◎							◎
②(3)	7	地域力の再生による生活支援推進事業	名古屋市				◎				●							◎							◎
②(3)	8	高齢者等地域活動支援ポイント制度	栃木県宇都宮市				◎				●							◎							◎
②(3)	9	まえばし地域活動ポイント制度	群馬県前橋市				◎			○	○	●						◎							◎
②(4)	10	共助の取組マッチング事業	埼玉県				◎				●				○										◎
②(4)	11	市民活動サポートバンク(げんき-NETひたちなか)	茨城県ひたちなか市				◎		○	○	●				○	○									◎
②(4)	12	アクティブシアによる地域の未来応援事業	青森県教育委員会				◎			○	●			◎											◎
②(4)	15	新たな公共プロジェクト	東京都文京区				◎			○	○	●			○										◎
②(4)	16	ひとしごと館	大阪市浪速区				◎				○	●						◎							◎
② 他	13	グランマ・シニア教室	グランマ・シニア教室				◎					●													◎
② 他	14	上尾・アブセック	上尾地区ビジネスキャリア・エンジョイグループ				◎					●			◎										◎
② 他	20	プラチナ・プラザ	NPOまちづくり役場(滋賀県長浜市)				◎					●					◎								◎
② 他	19	おじさま倶楽部	おじさま倶楽部(長野県生坂村)				◎			○		●			○		◎								◎
② 他	21	よろずや余之助	NPOよろずや余之助(群馬県太田市)				◎					●		◎	◎										◎
② 他	22	蔵前理科教室ふしぎ不思議(くらりか)	(一社)蔵前工業会				◎					●		◎				◎							◎

地域社会貢献／現役世代／県外／区市町村・団体

C—1 「地域デザインの学校」プロジェクト／福岡県福岡市・NPO法人ドネルモ

概要	<p>これまで地域活動に馴染みの薄かった人々が、自分なりの目線で地域に関わりながら、地域内外の活動の担い手とつながり、地域活動を豊かにしていくといった営みが生まれるようなプログラムを、NPO法人ドネルモと福岡市が共同開発・実践し、具体的なモデルケースをつくる事業。</p>	
基本情報	実施主体	福岡市市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課、NPO法人ドネルモ
	協力機関	—
	関連する計画等	福岡市協働事業提案制度 平成25年度採択事業
	対象地域	福岡市内
	対象者	福岡市民
	実施期間	平成26年度～平成28年度
内容	目標/ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に関わりの薄い層からの参加 ・「活動する人」をつくる ・活動を通じた波及効果
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に関わりの薄い層からの参加が得られ（受講者の8割）、30～40代を中心に、サラリーマン、自営業者、主婦、定年後の方、学生など、多様な属性の20代から80代が参加するなど従来のコミュニティ施策ではアプローチが難しかった世代を中心に多世代が集う場となった。 ・3年間で110名が受講。受講生の8割が卒業し、そのうち9割が地域活動に関わっている。 ・苦勞した点として、既存の地縁組織に対してNPOと協働で実施する事業の趣旨や意義を伝えることがあげられた。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域を中心に、次の3ステップを実施 Step 1：地域への事前調査／受講者の掘起し（ヒアリング調査、受講者応募の広報） Step 2：講座の実施 Step 3：活動へのアフターフォロー ・主体的に地域活動に関わるマインドと具体的に活動を進めるノウハウを持ち、他の活動者（既存の地域活動、NPO、企業等）と地域内外で相互につながるネットワークを有する担い手をつくることを目指している。 ・従来の地縁組織だけでは対応が難しい多様な地域のニーズに着目し、新しい層にアプローチをするノウハウを培ってきたNPO法人ドネルモと協働することで、これまでに地域活動に関わりの薄い層を掘り起こすことができた。
参考	NPO法人ドネルモ http://donnerlemot.com/	

C—2 地域活動実践型生涯学習講座／福岡県

概要	地域住民が自ら地域の課題を見つけ、課題解決に向けた活動計画の立案やそれに基づいた実践活動を学ぶ「地域活動実践型生涯学習講座」を福岡県内各地で実施。	
基本情報	実施主体	福岡県人づくり・県民生活部社会活動推進課
	協力機関	市町村または市町村を中心とした実行委員会
	関連する計画等	—
	対象地域	福岡県内
	対象者	地域活動に興味・関心のある住民等
	実施期間	平成25年度～平成27年度
内容	目標/ねらい	住民が自らの知識や経験を活かし、“自分ごと”として地域課題の解決に関わっていくきっかけとなる先導的な生涯学習機会を提供することで、多くの住民が主体的、自発的に地域に関わっていく人材育成を目指す。
	成果・課題	地域活動をしたことがない人や、30～40代など若い年代の受講者が多く集まった講座もあり、講座終了後も地域活動を継続するグループが生まれるなど、地域活動のきっかけとして事業が活かされている。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座では講師に大学教授やNPO代表などを迎え、地域課題の発見から課題解決に向けた活動計画策定、策定した計画に基づいた実践活動までを行った。 ・ 講座のまとめとして、受講者以外の地域住民や近隣市町村が参加可能な公開型の最終報告会を行い、広く活動を知ってもらう場を設けた。 ・ 市町村または市町村を中心とした実行委員会へ委託して実施。 ・ 実施体制について、市町村の生涯学習所管課及び地域づくり所管課、その他の関係部署や関係団体等と連携協力し実施すること、受講者から実践活動を行う上でのアドバイスや関連情報等について相談された場合の対応窓口を決めておくこと等を依頼した。
参考	福岡県人づくり・県民生活部社会活動推進課 福岡県地域活動実践型生涯学習事業 事例集 http://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/lectures/detail/212	

C—3 オヤジ☆イノベーション／千葉県柏市

概要	<p>男性の地域活動への参加を啓発するため、柏市と有志の市民によって組織された実行委員会との共催で、ダンスなどのパフォーマンスや体験講座、料理教室などの様々な催し事を行うイベントを開催。</p> <p>また、イベントの開催にあわせ、既に地域活動に積極的に取り組んでいる男性を紹介するための冊子「柏おやじ図鑑」を発行する。</p>	
基本情報	実施主体	千葉県柏市、オヤジ☆イノベーション実行委員会
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	柏市内
	対象者	柏市民
	実施期間	平成25年～（年1回、これまでに4回開催）
内容	目標/ねらい	<p>仕事だけでなく、趣味や地域活動などの仕事プラスワンの活動をしている「おやじ」を紹介し、地域デビュー予備軍の人が一歩踏み出すきっかけづくりと情報提供をする。</p>
	成果・課題	<p>冊子「柏おやじ図鑑」は好評で、毎年度発行しているほか、ホームページにも掲載。</p>
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年2月に開催されたイベントでは、趣味や地域で活躍するオヤジの団体や活躍紹介の他に、市長や柏市出身のミュージシャンなどを招き、討論会を開催。 ・「柏おやじ図鑑」は、活動している30～70代の男性（2017年版は47人掲載）について、活動内容やかかわるきっかけ、これから地域デビューを考えている潜在的な元気おやじたちへのメッセージのほか、活動団体のリスト（2017年版は82団体）も掲載。 ・オヤジ☆イノベーションの様子は、新聞やテレビなどでも紹介され、話題となっている。（朝日新聞、NHK等）
参考	<p>柏市地域づくり推進部地域支援課 http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p001104.html</p> <p>柏おやじ図鑑2017年版 http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p038579.html</p>	

C-4 地域デビュー体験ツアー／鹿児島県

概要	シニア世代の社会参加のきっかけづくりや仲間づくりを支援するため、鹿児島県内の社会貢献活動団体が行う地域活動、ボランティア活動、交流活動等を視察・体験する1泊2日のツアーを実施。	
基本情報	実施主体	鹿児島県
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	鹿児島県内
	対象者	鹿児島県内に居住する概ね60歳以上の地域活動に取り組む意欲のある次のような者 ① 第二の人生の目標・目的を求めているシニア世代 ② 社会貢献を模索している老人クラブの次世代リーダー ③ 県外からUIターンしたシニア世代など
実施期間	平成23年11月～12月	
内容	目標/ねらい	「団塊の世代」を中心としたシニア世代に、社会貢献活動団体が行う地域活動、ボランティア活動、交流活動等を視察・体験してもらうことにより、社会参加（地域デビュー）のきっかけづくりを行うと共に、活動の際の仲間づくりを支援する。 併せて、社会貢献活動団体である老人クラブ、NPO法人等の活動を促進する。
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のアンケートでは、8割以上が地域活動等に対する理解や認識等に「変化があった」と回答し、ツアー全般として高く評価していた。 また、「自分にできる地域活動を知ることができた」「活動内容・団体の情報収集ができた」との回答も多く、地域デビューをしたいと考えている人や何らかの活動をしている人にとっても、今後実践的に活躍していくための情報提供や、きっかけづくり等ができるツアーとして成果を収めた。 課題としては、交流時間を十分に確保し、より仲間（ネットワーク）づくり等をしやすくする必要があるとしている。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> 運営体制としては、地元新聞社が体験企画と運営を、旅行会社が旅行企画と実施を受け持った。 1泊2日で料金は5,000円（宿泊費、食事代を含む）。食事は地元の食材を使った料理を提供。 バス移動で、各団体との交流や、宿泊先での親睦交流会・意見交換会も行われた。 視察・体験先は、老人クラブ、地域コミュニティ団体、ボランティア団体、NPO法人など。
参考	鹿児島県担当部署：県民生活局長寿・生きがい推進室 www.kagoshima-senior-ouen.net/wp/wp-content/uploads/2012/01/tour_debut.pdf	

C—5 スポーツボイス大学院／長野県松本市

概要	<p>松本市では、カラオケ機器メーカーである（株）第一興商に業務委託し、閉じこもりが心配される定年退職後の男性を対象に、集団で全身運動、声帯ストレッチや腹式呼吸に重点を置くボディ&ボイストレーニングを行うプログラムを実施。</p>	
基本情報	実施主体	長野県松本市
	協力機関	株式会社 第一興商（事業受託）、信州大学
	関連する計画等	松本市「退職後男性の生きがいづくり」事業
	対象地域	松本市内
	対象者	概ね60歳以上の男性
実施期間	<p>平成27年10月～平成28年2月 実証実験事業実施 平成28年9月～平成29年3月 松本市「退職後男性の生きがいづくり」事業として事業委託</p>	
内容	目標/ねらい	<p>閉じこもりがちな定年退職後の男性の居場所、生きがい、仲間づくりの場をつくる。</p>
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を決め、皆で声を出すことで一体感が出、その後福祉ひろばの運営にかかわる人も出ている。 ・ 信州大学によるアンケート調査では、参加者のパーソナリティや自尊心にポジティブな影響を与えたり、心理的な健康を向上させたりしたことが明らかになった。 ・ また、夫婦のコミュニケーションの取り方に関して、配偶者の見方を良好なものに変化させたことも併せて示された。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)第一興商は、松本市の健康寿命延伸都市構想を推進するための事業を行う健康産業創出に向けた産学官連携のプラットフォーム「松本地域健康産業推進協議会」の会員として、実証実験事業を実施。 ・ 会場となっている「福祉ひろば」は1995年に活動をスタートしたものの、男性の参加が少ないことが課題となっていた。 ・ そこで実証実験事業では、こうした状況を打破し、定年後の男性の閉じこもり予防と共に、地域の担い手、リーダーづくりを目的にスタートし、その結果、初めて福祉ひろばに足を運んだという男性約70人が参加。 ・ 実証実験事業では市内3地区の施設に機器を設置し、指導スタッフ付きの男性限定健康教室を行い、心理面、地域交流、運動習慣等の変化を検証。 ・ 受講者の中から、音楽健康指導士の資格を取る仕掛けづくりも行っており、知育作り、健康づくりに取り組む人材を育成。
参考	<p>(株)第一興商ニュースリリース http://www.dkkaraoke.co.jp/newsrelease/ajaxfiles/load2016.html?file=160809&name=報道資料</p>	

地域社会貢献／高齢者／県外／団体

C—6 都岐沙羅パートナーズセンター／特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

概要	新潟県岩船地域における広域圏の地域づくりを推進する中間支援組織として、住民、企業及び行政とのパートナーシップに基づき、三者の中間に立って様々なコーディネートやプランニング、リサーチなどを行い、地域を元気にする社会起業家やNPO等を支援している。		
基本情報	実施主体	特定非営利活動法人都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンター	
	協力機関	—	
	関連する計画等	新潟県「ニューにいがた里創プラン」(～平成19年度)	
	対象地域	新潟県岩船地域(村上市、関川村、栗島浦村)	
	対象者	新潟県岩船地域内	
	実施期間	平成11年6月(平成14年3月に特定非営利活動法人化)～	
内容	目標/ねらい	岩船圏域の住民が元気に生き生き暮らすため、まちづくりの推進と支援に関する事業を行うと共に、住民、企業、行政のパートナーシップによる地域社会づくりに寄与する。	
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見交換会をもとに開発した商品が、実際に東京のアンテナショップで販売されるなど、地域の産業振興につながる取組みがなされている。 ・地域内だけに留まらず、地域外のNPOや市民団体、企業・団体との協働や共同研究も積極的に実施することで地域振興につなげている。 	
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネス起業家育成や官民協働の地域づくり事業で数多くの成果・実績を残している事業コーディネート型の中間支援組織。 ・地域づくりに関連する全ての分野の住民活動に対して活動相談や各種情報提供、マッチング、ネットワーク形成支援などを実施。 ・「コミュニティビジネス支援事業」として、地域ぐるみでコミュニティビジネスを育てる仕組みづくりから起業家への個別支援まで幅広い支援活動を展開し、各種情報提供、マッチングなどを常時実施。 ・地域外にも幅広いネットワークを有し、地方と都市を結ぶ交流事業の窓口としても機能している。 	
参考	<p>https://www.tsukisara.org/</p> <p>平成26年度ふるさとづくり大賞・団体表彰 受賞</p> <p>第7回地域再生大賞受賞(平成29年)</p>		

地域社会貢献／高齢者／県外／区市町村

C—7 地域力の再生による生活支援推進事業（地域支えあい事業）／愛知県名古屋市

概要	<p>地域の中で、買い物支援や電球の交換、衣類の入れ替え等、ちょっとした困りごとを抱えた高齢者を、各学区のご近所ボランティアコーディネーターを核に、元気な高齢者を始め地域の学生や商店街等がボランティアとして支援し、併せて地域力の再生を図る取組み。</p>		
基本情報	実施主体	愛知県名古屋市	
	協力機関	名古屋市社会福祉協議会（受託）	
	関連する計画等	第6期名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画「はつらつ長寿プランなごや2015」	
	対象地域	名古屋市内	
	対象者	名古屋市民	
	実施期間	平成26年度～ （平成20年10月～平成26年3月までは、「シルバーパワーを活用した地域力再生事業」として実施）	
内容	目標/ねらい	<p>公的制度では解決できない地域住民のニーズに応えるため、個人に着目した個別支援活動を、地域住民自身が行っていくことを目指す。</p>	
	成果・課題	<p>ボランティアポイント制度の導入により活動者数が20%以上増加。</p>	
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進協議会を母体として「地域支えあい活動連絡会議」を設置し、「住民相談窓口」としてご近所ボランティアコーディネーターを配置。 ・コーディネーターは地域住民から相談を受け付けるとともに、ちょっとした困りごとに対応するご近所ボランティアを調整することで、その解決を図る。 ・地域支えあい事業を実施している学区でボランティア活動を行う方にボランティアカードを発行し、活動に応じてポイントを付与。 ・貯まったポイントは1ポイント10円に換算され、学区の実情に合わせた方法で還元。 ・区社会福祉協議会のコミュニティワーカーが、困りごとの把握や、解決方法をともに考えること、ボランティア講座の開催などの支援を実施。 	
参考	<p>名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000076349.html</p>		

C—8 高齢者等地域活動支援ポイント制度／栃木県宇都宮市

<p>概要</p>	<p>管理運営機関を担う宇都宮市社会福祉協議会に事前に登録した団体やグループが取り組む活動に高齢者が参加すると、その実績に応じて市の施設利用券やバスカードなどへの交換、ボランティア団体などへの寄附、介護保険料の納付に充てることが可能なポイントがもらえる事業。介護保険事業として実施されている。</p>	
<p>基本情報</p>	<p>実施主体</p>	<p>栃木県宇都宮市</p>
	<p>協力機関</p>	<p>宇都宮市社会福祉協議会（事業委託）</p>
	<p>関連する計画等</p>	<p>—</p>
	<p>対象地域</p>	<p>栃木県宇都宮市</p>
	<p>対象者</p>	<p>栃木県宇都宮市民</p>
	<p>実施期間</p>	<p>平成26年10月～</p>
<p>内容</p>	<p>目標/ねらい</p>	<p>高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを促進すること。</p>
	<p>成果・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体を対象としたアンケートでは、70%近くが「個人としての活動意欲の高まり」や「メンバーの増加」などの変化があったとしている。 ・ポイント事業については、「手続きの煩雑さ」や「交換先の拡充」などの意見があり、ポイント事業の充実に向けた見直しが求められている。
	<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる活動は、地域貢献活動（清掃・美化運動や介護保険施設などでの支援活動など）と、健康づくり活動（介護予防の自主グループ活動や市が実施する介護予防事業（介護予防教室や介護予防講演会等）など）。 ・対象者は、地域貢献活動が60歳以上65歳未満の宇都宮市民もしくは、65歳以上の宇都宮市介護保険第1号被保険者、健康づくり活動が65歳以上の宇都宮市介護保険第1号被保険者、としている。 ・1回（1時間以上）の活動で1ポイントがもらえる。1日の上限は2ポイント、年間の上限は50ポイント。
<p>参考</p>	<p>宇都宮市保健福祉部高齢福祉課 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/koureisha/sanka/1004343.html</p>	

C—9 まえばし地域活動ポイント制度／群馬県前橋市

概要	<p>予め会員登録した市民が、地域づくり協議会が主催または協力等を行う事業、市民活動支援センターが主催する事業に「担い手」として参加したときに、会員証であるポイントカードにより、ポイントが付与されるもの。たまったポイントは一定の還元が受けられる。</p>	
基本情報	実施主体	群馬県前橋市
	協力機関	前橋市内22地区の地域づくり協議会
	関連する計画等	—
	対象地域	<p>群馬県前橋市内 平成27年度～ 市内4地区の地域づくり協議会と市民活動支援センターにおいて社会実験 平成28年度～ 地域づくり協議会を市内全て（22地区）に拡大</p>
	対象者	あらかじめ会員登録した満16歳以上で、前橋市内に在住または在学、在勤している人。
	実施期間	平成27年度～
内容	目標/ねらい	非営利で公益的な「地域活動」の担い手の確保、増加、掘り起こしを図り、地域活動のさらなる活性化につなげる。
	成果・課題	地域活動に関わることでポイントが取得できる制度によって、地域活動が継続的に行われ、地域活動の新たな担い手を掘り起こす好循環をつくり出した。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・個人番号制度（マイナンバー）における、個人番号カードのICチップの空き容量を活用する独自利用サービスのひとつとして始められた事業。 ・会員にはIDがバーコード印字されたポイントカードとインターネット上のポイント口座が与えられ、地域活動に参加するごとに主催者に読み取ってもらい、ポイント口座にポイントが付与される仕組み。 ・ポイントは、1ポイント100円程度の商品（QUOカードやゆるキャラグッズなど）と交換できるほか、会員が応援する地域団体の活動資金として1ポイント200円に換算して寄附することができる。
参考	<p>前橋市市民部生活課 http://www.city.maebashi.gunma.jp/sisei/519/539/01/p014594.html</p>	

地域社会貢献／高齢者／県外／都道府県

C—10 共助の取組マッチング事業／埼玉県

概要	<p>「共助仕掛人」を中心に、地域の課題解決を図ろうとするNPOや自治会と、スキルや人生経験を活かして社会貢献したい専門家をつなぎ、さらに、助成金や寄附、融資など活用資金もつなぐことで、共助の取組を推進する仕組みをつくる。</p>	
基本情報	実施主体	埼玉県県民生活部共助社会づくり課
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	埼玉県全域
	対象者	埼玉県民
	実施期間	平成26年度～平成28年度
内容	目標/ねらい	<p>地域の課題解決に取り組むNPOや自治会等が活動や事業をスムーズに実施するためには、スキルやノウハウを持った県民の支援が必要であり、そうした共助の取組みに県民が参加しやすい仕組みづくりをすることで、共助社会づくりを進める。</p>
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで地域との関わりが薄かった専門家の地域への関心やNPOへの理解が進み、共助の担い手が拡大。 ・専門家のアドバイスによりNPO活動が効果的となり、支援を受けた地域のNPOが成長。 ・実績（平成26年～28年9月） マッチング件数：1,242件 専門家ボランティア登録数：団体92、個人253
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターとなる「共助仕掛人」を県内4箇所に設置し、県民に身近な市町村に共助の取組を支援する仕組みを作り、県内へ波及。 ・税理士や建築士などスキルやノウハウを持った人材をはじめ、仕事や人生経験を活かして社会貢献したい人材を「専門家」として発掘し、登録。 ・県内金融機関、学識経験者、内閣府、埼玉県などで構成する資金調達勉強会を発足し、地域の資金を地域で循環させるための具体的な仕組みづくりについて勉強。 ・勉強会では具体的な商品や仕組みを生み出し、共助仕掛人のコーディネートにより、地域の課題解決に活用。
参考	<p>埼玉共助スタイル http://kyojo.saitamaken-npo.net/</p>	

C—11 げんき-NE Tひたちなか／茨城県ひたちなか市

概要	市民活動サポートバンク「げんき-NE Tひたちなか」は、インターネット上で市民活動に必要なさまざまな情報を提供するとともに、自由な意見交換の場となるSNS機能により活動したい人・活動してもらいたい人とを結びつけるしくみ		
基本情報	実施主体	茨城県ひたちなか市	
	協力機関	—	
	関連する計画等	ひたちなか市ICT推進計画 ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
	対象地域	茨城県ひたちなか市内	
	対象者	茨城県ひたちなか市民	
	実施期間	平成19年1月～	
内容	目標/ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・人材、団体・サークル、講座、イベントなど、市民活動に必要な様々な情報を提供するとともに、活動したい人・活動してほしい人を結びつけるコーディネート活動を行うことによって「自立協働都市」ひたちなかの実現を目指す。 ・コミュニティ組織や自治会からの地域情報の発信力が強化されることにより、自分たちの地域への関心が高まり、地域行事への参加促進など、地域の絆の強化が期待できる。 	
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の身近なニュースを発信することで、さまざまな交流が期待でき、新たな地域のつながりが創出される。 	
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・HPには、ひたちなか市で活躍する人材、団体・サークル、講座・イベント、ボランティア募集などの情報を掲載している。 ・HPでは市民活動に必要な情報を検索できるだけでなく、簡単な会員登録により、市民自身や主催する団体・サークルの情報を掲載し、アピールすることができる。 ・市民活動サポートバンクの事務局には「コーディネーター」を置いている。 ・近場でボランティア活動をしたい、PTAの講演会に最適な講師を探している、団体の活動を広くPRしたい、などの相談に応じて、コーディネーターが相応しい人材、団体などを紹介している。 	
参考	げんき-NE Tひたちなか http://www.genkinet-hitachinaka.jp/ ひたちなか市市民活動課 https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/4/6750.html		

C—12 アクティブシニアによる地域の未来応援事業／青森県教育委員会

概要	<p>アクティブシニア（社会参加活動に積極的に取り組むシニアとプレシニア）が、学校支援（キャリア教育推進、授業援助、学習環境整備等）、家庭教育支援、子供の地域活動支援などに取り組むことにより、地域の未来を応援する活動を支援する。</p>	
基本情報	実施主体	青森県教育委員会
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	青森県内
	対象者	青森県民
	実施期間	平成27年度～28年度
内容	目標/ねらい	<p>人口減少下における地域コミュニティの持続と活性化のため、シニア世代及びその前段階にあるプレシニア世代の持つ知識・技術・経験を学校支援、家庭教育支援、子供の地域活動支援などに生かす仕組みをつくとともに、社会参加活動に積極的に取り組むシニアの拡大を図ることを目的とする。</p>
	成果・課題	<p>地域の未来応援実践モデル事業委託先 平成27年度：県内12団体 平成28年度：県内14団体</p>
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化、未来を担う子どもたちの育成のために、シニア及びプレシニアの持つ豊かな知識、技術、経験を生かす取り組みを行おうとする団体やグループに対して事業委託。 ・「地域の未来応援モデルの構築」として、モデル事業の委託（地域の活動団体等）と実施（学校支援、家庭教育支援、子供の地域活動支援など）。 ・「シニアのファシリテーション能力」の向上として、ファシリテーター養成講座を開催。 ・「市町村と活動団体のネットワークの形成」として、アクティブシニア応援担当者連絡会議の開催や、先進地活動団体との交流会を実施。 ・「社会参加活動の拡大と普及・啓発」として、地域の未来応援フォーラムの開催や、活動事例集を作成・配付。
参考	<p>青森県教育庁生涯学習課企画振興グループHP http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/active-senior.html</p>	

C—15 新たな公共プロジェクト／東京都文京区

概要	対話等を通じて地域の多様な主体が関わり合いながら、地域課題の解決を図る担い手を創出していく取組を「新たな公共プロジェクト」として実施。	
基本情報	実施主体	東京都文京区
	協力機関	—
	関連する計画等	文京区基本構想
	対象地域	文京区内
	対象者	文京区民
	実施期間	平成25年度～平成28年度
内容	目標/ねらい	区民、地域活動団体、NPO、事業者など新たな公共の担い手と区が手を携え、互いの責任と役割を果たしながら、文京区のあるべき姿（将来像）を目指す。
	成果・課題	<p>○3年間で延べ2,943人が事業に参加。（参加者数は769人）</p> <p>（主な成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の経験やアイデアを活かすための、協働のプロセスが整った。 ・多様な区民が参加し、相互に応援し合う関係性を生み出すことができた。 ・区職員の協働に対する意識に変化が生じた <p>（主な課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で生まれた活動が「継続的に質の高い公共サービスを提供する」状況にまで至らなかった。 ・既存の地縁組織（町会、自治会）、NPO及び企業と新たな公共の担い手とのつながりが十分とはいえない。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域参画のステージアップを促す一連のスキームとして3つのステージを設け、担い手を創出・育成。 <p>（ステージ1）「担い手創出のための土壌づくり」として、特設サイトやSNSなどによる情報提供や、対話の場などを設け、地域と出会い、知るきっかけをつくる。</p> <p>（ステージ2）ステージ1をきっかけに、「事業のスタートアップ」として、課題解決手法と事業づくりを学ぶ講座の開講や、課題解決の事業への支援などを実施。</p> <p>（ステージ3）「プロフェッショナルな担い手」として、区との対等な協働事業を継続的に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区職員にも、対話の場やプロジェクトの支援、研修等に参加することで、協働の意味を考える機会を増やした。
参考	http://www.city.bunkyo.lg.jp/sangyo/kyodo/kyoudou/aratanakoukyouteigengo.html	

C—16 ひとしごと館（仲間づくり助け合い事業）／大阪市浪速区

概要	<p>買い物支援や日曜大工など、日常生活のちょっとした困りごとを助け合うボランティアの拠点。特技を活かして誰かの役に立ちたいと考えている人と、近所へ助けを求められずにいる人をマッチングし、ひとりひとりが輝く社会の実現を目指すもの。</p>	
基本情報	実施主体	大阪市浪速区
	協力機関	NPO法人 Co. to. hana（コトハナ）（事業委託）
	関連する計画等	—
	対象地域	大阪市浪速区内
	対象者	大阪市浪速区民
実施期間	<p>平成27年度～平成29年度 （ひとしごと館は平成28年2月オープン）</p>	
内容	目標/ねらい	<p>お互いに助け助けられることで支えあう会員制の有償ボランティアの仕組みを構築することによりコミュニティを活性化させる。</p>
	成果・課題	<p>会員同士のトラブル（犯罪や弁償に繋がるケース等）が起きないように仕組み作りが課題。</p>
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・資格や特技を持ちながら生かす機会がない定年退職後のシニアや子育て中の主婦らに注目し、困りごとのニーズに対して対応できる人を有償ボランティアとして派遣。 ・困りごとを助けてもらいたい人（発注者）が1時間1,000円で仕事を依頼することができ、うち500円がスキルの提供者（受注者）に支払われる。 ・「傾聴」「パソコン」「学習支援」「撮影」「料理」「生活の手伝い」などの得意分野を持つ会員が登録。 ・スキルアップのための勉強会やイベントを開催などにより、会員同士の交流の機会をつくり、新たな知見の創出を目指している。
参考	<p>ひとしごと館 http://hitoshigotokan.jp/ 大阪市浪速区役所 保健福祉課 http://www.city.osaka.lg.jp/naniwa/page/0000340895.html</p>	

C-13 グランマシニア教室／グランマシニア教室（岩手県矢巾町）

概要	<p>会員の自宅を託児所として開放し、親子の遊び場「グランマ広場」として、高齢者と核家族の親子が触れ合う機会を設けている。</p> <p>会員は全員が65歳以上の高齢者であり、80歳を越えた女性が会員の大半を占めている。</p>	
	実施主体	グランマシニア教室（ボランティア団体）
基本情報	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	岩手県矢巾町
	対象者	岩手県矢巾町民
	実施期間	平成18年～
内容	目標/ねらい	高齢者がこれまで培った経験、知識を地域の活性化に役立てること
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学生や同世代の施設入所者などに対して、会員自らが得意とする芸を披露（音楽など）することで、自らの元気をアピールしながらも、互いに支えあい、喜びを分かち合っているという実感が持っている。 高齢者（会員）の孤立防止や介護予防にも寄与。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> 託児ボランティア活動のほか、月に2～3回の誕生会やハンドベル演奏会、絵本の読み聞かせ、季節の催し物などの世代間交流を行うほか、コーラス隊による高齢者施設への慰問も行っている。 また、月1回のシニア教室として料理や手芸など同会員が講師となって特技を教えるなど高齢者同士の交流も図っている。 東日本大震災後は、「グランマ広場」を利用する子どもたちと大槌町の子どもたちが、震災体験をテーマにした新聞づくりを通して親睦を図ったほか、被災者を招き手料理を振舞うなど、震災からの復興支援にも力を入れている。
参考	<p>岩手県「いわて保健福祉基金助成事業」 http://www.aiina.jp/advancedage/joseidantai/granma.html</p>	

地域社会貢献／高齢者／県外／団体

C-14 上尾・アブセック／上尾地区ビジネスキャリア・エンジョイサークル

概要	企業OBの専門的知識や資格を活用して、地域の中小企業の経営支援や、地域活動、会員交流などを行っている。	
基本情報	実施主体	上尾地区ビジネスキャリア・エンジョイサークル（アブセック）
	協力機関	上尾商工会議所、桶川商工会、伊奈商工会
	関連する計画等	—
	対象地域	埼玉県上尾市、桶川市、伊奈町
	対象者	上尾地域に在住する企業OB
	実施期間	平成15年4月～
内容	目標/ねらい	有能なビジネスシニアを中小企業に紹介し、経営改善と体質強化に資すると同時に、高齢化社会への対応として、能力を発揮する場の適用と生きがいのある社会の創出を図る。
	成果・課題	<p>これまでの活動実績（平成27年3月31日現在）</p> <p>企業支援活動：支援件数 539件、支援者数 708人</p> <p>地域活動：支援件数 124件、支援者数 1,757人</p> <p>（竹とんぼ教室、あげおまつり、桶川市民まつり等）</p>
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・アブセックの組織には、企業を支援する「経営支援委員会」、地域の活性化の活動を行う「地域活動委員会」、会員相互の交流を図る「会員交流委員会」のほか、広報や情報収集を行う「広報委員会」があり、各委員会は主体的に運営されている。 ・「生きガイ」「やりガイ」「ナイスガイ」の3ガイ活動を実践している。 <ul style="list-style-type: none"> →「生きガイ」：現役時代のスキルを活用し、企業の経営・体質強化のための経営支援活動 「やりガイ」：町づくりの提言やボランティアを通して地域社会に貢献 「ナイスガイ」：ナイスガイを目指して、会員同士の親睦・交流とサークル活動で、充実したセカンドライフを創出
参考	<p>上尾地区ビジネスキャリア・エンジョイサークル（アブセック）</p> <p>http://www.ageocci.or.jp/abcec/index.html</p>	

C—20 プラチナプラザ／NPO法人まちづくり役場（滋賀県長浜市）

概要	<p>高齢者を中心とした地元メンバーが、それぞれ5万円を出資し、商店街の空き店舗を活用して「プラチナプラザ」を設立。</p> <p>出資した約40名が経営者でもあり、従業員でもある形態を取っており、地元の野菜を扱った「野菜工房」やおふくろの味を提供する「おかず工房」など、4店舗を運営している。</p>	
基本情報	実施主体	NPO法人まちづくり役場
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	滋賀県長浜市
	対象者	—
	実施期間	平成9年～
内容	目標/ねらい	熟年世代の生きがいがづくり、街のにぎわいの創出
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗率が深刻な状況にあった商店街に協力を依頼し、地元の野菜を扱う「野菜工房」、おふくろの味を提供する惣菜屋「おかず工房」、リサイクル品を扱う「リサイクル工房」、同世代・異世代の交流の場の喫茶店「井戸端道場」の4店舗をオープン。 ・ 新規メンバーの獲得に苦慮している。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長浜市が官民協働で開催した「北近江秀吉博覧会」において、シルバー・コンパニオンとして活躍した55歳以上の男女の有志を中心に発足。 ・ 活動開始時に参加者から5万円の出資を得て、自立意識を持つように求めたほか、税理士や個人資格の行政関係者などプラチナプラザを応援する「経営委員」から個人1万円×50名、企業から一口10万円の出資を得た。立ち上げ時には県と市から空き店舗補助を受けたが、それ以降は受けていない。 ・ 参加者自らが出資をすることで、経営者としての「やりがい」を生み出すことができた。 ・ 各工房が独立採算で利益分配を行うこととしており、売上げから総経費を引いた額を、全員の勤務時間の合計で割って時給を出している。余剰金は店舗運営資金としてプールしている。
参考	NPO法人まちづくり役場 http://www.biwa.ne.jp/~machiya/index.html	

C—19 おじさま倶楽部／長野県生坂村

概要	<p>生坂村が開催した、そば打ちの技術や遊休農地を活用した農産物栽培、農産加工、パソコン講座等を研修するセミナーの開催を発端に、その後は任意団体として活動を継続。</p> <p>村営施設でのそばの提供、そば打ちの体験講師、「どぶろく」作り、遊休農地を利用した野沢菜の契約栽培などを行っている。</p>	
基本情報	実施主体	長野県生坂村
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	長野県生坂村
	対象者	生坂村村民
	実施期間	平成19年度～
内容	目標/ねらい	<p>そば打ち、どぶろく作り、農産物栽培を活動の三本柱に、自分自身の生活を充実させ、さらに生坂村の元気につながることを狙いに活動している。</p>
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修をきっかけに会員のそば打ちの技術が向上し、村や倶楽部独自のイベントの開催や体験講師、村内施設への協力等、村の活性化へ貢献できた。 ・現役世代や新規のメンバー獲得に苦慮している。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・村営温泉宿泊施設「やまなみ荘」のレストランでは、会員が栽培し、手打ちした、長野県が開発した品種「信州ひすいそば」を使ったメニューが好評を得ている。 ・生坂村は「どぶろく特区」に指定されており、村の農業公社が製造販売しているどぶろく作りに協力している。 ・村のイベントへの出店やそば祭りの開催、他団体との交流や村外者も含めた栽培から加工までのセミナーの開催なども行っている。 ・事務局（生坂村振興課）が会員のニーズをくみ取りながらコーディネートして活動を進めることにより、会員がそれぞれの得意分野や志向する分野を選択して活動することで、事業の継続性が高まり、新しいことにも挑戦する前向きな気持ちで取り組むことができている。
参考	<p>生坂村役場振興課</p> <p>http://www.village.ikusaka.nagano.jp/gyousei/sinkouka/ojisama_club.htm</p>	

C—21 よろずや余之助／NPO法人よろずや余之助（群馬県太田市）

概要	<p>高校の同窓生メンバーが、各自が有する専門知識を活かしてよろず相談としてコミュニティカフェ「余之助茶屋」を拠点に、無料で相談事を受けている。</p>	
基本情報	実施主体	NPO法人 よろずや余之助
	協力機関	太田市役所、太田商工会議所、太田NPOセンター
	関連する計画等	—
	対象地域	群馬県太田市
	対象者	—
	実施期間	平成14年～
内容	目標/ねらい	<p>誰でも、何時でも、どんなことでも、気楽に相談できる場所を提供すること。</p>
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業では無料相談の利用者が年間約100人、そのうち業者等を斡旋・紹介したのが約30人となっている。 ・後継者の育成を今後の目標としている。
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県立太田高校の卒業生を会員として、医師、弁護士、税理士、不動産業者、建設業者、中小企業経営診断士など異業種専門家集団を揃えており、市役所や商工会議所、NPOセンター等とも連携して、様々な相談に対応している。 ・相談事業のほか、喫茶事業（物販や歌声喫茶、ギャラリーなど）、教育事業（各種講座・教室の開催などの開催による地域住民のたまり場の創出）などの有償事業を展開しており、NPOとしての事業運営も採算がとれている。 ・専門家として相談を解決するのは主に男性だが、喫茶事業などのイベントでは、50～70代の女性が運営をサポートしている。 ・喫茶スペースでは、シルバー人材センター会員による、絵画、パッチワーク、手工芸品等を展示即売し、作り手である高齢者にも購入する人にも喜ばれ、地域の高齢者の参加を促進している。 ・定休日には「かんがるうクラブ」という知的障害児のための学習塾を開講し、養護施設で働いていた会員が講師を務めている。
参考	<p>平成14年度経済産業省「市民ベンチャー支援事業」 平成23年度群馬県「地域づくり協働モデル事業」 NPO法人 よろずや余之助 http://www.yonosuke.or.jp/</p>	

C—22 蔵前理科教室ふしぎ不思議（くらりか）／蔵前工業会

概要	<p>主として小学生を対象に、科学原理を活用したおもしろい工作教材と原理等を説明する資料等を持参し、各地の児童館、小学校、公民館などで出前理科教室を行っている。</p>	
基本情報	実施主体	一般社団法人蔵前工業会（東京工業大学同窓会）
	協力機関	—
	関連する計画等	—
	対象地域	全国
	対象者	東京工業大学同窓会の有志
	実施期間	平成17年5月～
内容	目標/ねらい	<p>科学原理をテーマとした寺子屋方式の出前理科教室を行い、理科好きの子どもが一人でも増えることを目的として活動している。</p>
	成果・課題	<p>メンバーは70代が多く、高齢化が課題となっており、現役メンバーの勧誘に苦慮している。</p>
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・東京工業大学の卒業生によって構成されている（一社）蔵前工業会の傘下組織、蔵前技術士会と神奈川県支部の有志が結成したボランティアグループ。 ・教室では参加者5人に対し1名がつき、苦手な子どもでも楽しくわかりやすくなるよう、親切丁寧に教えている。（参加者は1教室につき20～30人程度） ・児童館や地域のコミュニティーハウス、小学校、中学校、イベントなどで実施。（県立川崎図書館では、「科学実験教室」として年3回実施） ・全国で年間500教室程度開催している。平成25年度末までに1,768教室を開催、79回の科学イベントに出展し、延べ5万1千人を超える児童が参加。 ・参加者へのアンケートでは、楽しかったという感想が多い。 ・使用する教材や、テーマの科学的な原理・法則や動作の仕組みなどを説明するプレゼン資料はすべて自前で作成。 ・参加費を徴収し、教材・資料等の作成代のほか、講師謝礼・交通費分までまかなうようにしている。
参考	<p>蔵前理科教室ふしぎ不思議（くらりか） http://kurarika.net/</p>	